

教会学校 教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

1. みことば

祈りながら今週のテキスト(聖書箇所)を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、覚えましょう。

2. 主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例 ○:イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるように
カナで奇跡を行いました。(×:カナの婚礼と奇跡)

3. 教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

4. メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。

◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団 教会教育部

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。
すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

教師ノート

週課	第三年 第四課 第一週
単元	イースター
テーマ	悲しみと苦しみを知っておられる主
タイトル	イエス様の逮捕
テキスト	ヨハネ 18:1—19:16
参照箇所	マタイ 26:47-56,マルコ 14:43-50,ルカ 22:47-53
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	イザヤ 53:12
AG 日曜学校教案参照箇所	

□導入

みなさんは、信頼していた友だちに裏切られた事がありますか？ どんな気持ちでしたか？
そういう時は、悔しくて、悲しくて、もう誰も信じたくない気持ちになりませんでしたか？
実は、イエス様は信頼していた人たちに裏切られたのです。それだけではありませんでした。

□ポイント1 兵士達がイエス様を逮捕しにやってきました

祭司長やパリサイ人が集まって何か話しています。そこには、たくさんの兵士達もいました。今から何が起こるのでしょうか？…実は、イエス様を今から捕まえに行く相談をしていたのです。武器を持って、イエス様のおられる所まで行こうとしています。

案内をしているのは…なんとイエス様のお弟子さんのユダです。(マリヤの香油の時の事を思い出させて下さい。) ユダは、イエス様を裏切ってわずかなお金と引き換えにイエス様を祭司長やパリサイ人に売ったのです。ユダは、イエス様と食事をしていたのですが、途中で抜け出して、祭司長やパリサイ人のところに行ったのです。そして、イエス様のおられる場所まで、兵士達を案内しました。

その場所につくと、暗くてイエス様の顔を知らない兵士もいたので、ユダはイエス様に近づいて、ど

の人がイエス様かを教えたのです。
そこにいたお弟子さんたちは、ビックリしたでしょう。まさか、ユダがイエス様を裏切るなんておもってもいなかったでしょうから。ペテロは、自分の持っていた剣で戦おうとして、兵士の一人でマルコスという人の耳を切り落としました。でも、イエス様は、ペテロのした事を喜びませんでした。その人の耳をいやされ、今からご自分のしなければいけないことをペテロに伝えたのですが、ペテロには、今一つよくわからなかったようです。

□ポイント2 ペテロはイエス様を知らないといいました。

ペテロは、イエス様のことが心配だったので。大祭司の家までついて来ていました。最初、門の所に立っていると「あなた、イエス様の弟子でしょう?」と言われ、「違います」と答えてしまったのです。今度は、火にあたっていた時、「あなたもイエスの仲間でしょう?」と言われ、また否定してしまったのです。耳を切り落とされた人が「あなたは、あの場所にいたじゃないですか」と言われ、また違うと言ったのです。(ルカの記述には、ペテロが三度否定した時に、「主が振り向いてペテロを見つめた(ルカ 22:61)」とありますので、イエス様にペテロの声が届いていたと考えられます)

イエス様は、ペテロが自分を「知らない」と三度言った事を知っておられました。前にもペテロに言った事があります。でも、その時は、「自分はゼツタイ裏切らない!」と断っていました。

ペテロがイエス様を知らないと言っている声を聞いたイエス様は、どんなお気持ちだったでしょうね。

ペテロは、悲しくなってすごく泣きました。本当に悲しかったのです。

一方、大祭司の庭では、イエス様を尋問していました。まだ夜中だというのに、みんな集まってイエス様を訴えていました。なんといっても、祭司長やパリサイ人達には、悪いたくらみがありました。

□ポイント3 イエス様はピラトに訴えられました

祭司長やパリサイ人達は、イエス様をなんとかして死刑にしようとしていました。理由は、イエス様がいと自分たちに都合が悪いからです。たくさんの人にウソの証言をさせました。

(ここは、他の聖書箇所を読み合わせて、話して下さい。)

そして、イエス様を死刑にするためにピラトという人に訴えたのです。この人は、この地方を治めていたローマ人です。ユダヤ人達が、イエス様の事をいろいろ訴えるので、イエス様に会って話をしました。

ピラトは、イエス様に質問しました。「あなたはユダヤの王ですか?」

イエス様は「その通りです。」と答えられました。(上級生は、:33-38を読んでイエス様の言われたことについて話すと良いでしょう。イエス様をご自分について何とっておられるのか、考えてみましょう。)

ピラトには、イエス様には罰を受ける罪がない事がわかっていましたから、なんとかイエス様を助けようしました。そこで一年に一度、一人だけ釈放することが出来る制度を利用することにしました。ピラトは、イエス様を釈放しようががんばってみたのですが、人々はイエス様を釈放するどころか「バラバを赦せ!」「十字架につけろ!」と、叫んだのです。なんとか助けようとしていたピラトは、とうとうユダヤ人の声に負けてしまいました。イエス様をユダヤ人の要求通り、十字架につけることを許可してしまったのです。

イエス様は、十字架にかかることがご自分の使命だと知っておられました。だから、何も言わないで十字架にかかれることを受け入れたのです。

□結論 イエス様をご自分の目的を知っていました

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

イエス様は、何も悪い事はしていませんでした。でもイエス様は、ご自分が十字架にかかって死ぬ事が、私たちの救いのためのただ一つの方法だと知っておられたのです。本当なら、いくらでも無罪になる方法があったでしょう。でも、イエス様はご自分の目的のために黙って十字架への道を進まれたのです。

あなたは、信頼していた友だちに裏切られて、悲しい、悔しい思いをしたことがあるでしょう。イエス様も、そうでした。イエス様は、あなたの心の悲しみを全部知っておられます。イエス様も、あなたが感じている悲しみや苦しみを全部、いやそれ以上に味あわれたのです。

だから、あなたの心の痛みも叫びも分って下さるのです。何でもイエス様に祈って下さい。あなたの心の痛みを取り除くために、こんな不正な裁判も耐えられたのです。

もし、イエス様が自分の無罪を主張して、十字架にかかる事を拒否したなら、私たちが赦されて、心が解放されることはなかったでしょう。この十字架は、あなたのためだったのです。

イエス様は、あなたのために黙って不当な裁判を受け、十字架にかかられました。それは、あなたを愛しているからです。いのちがけの愛です。お祈りしましょう。

教 師 ノ ー ト

週課	第三年 第四課 第二週
単元	イースター
テーマ	イエスさまの十字架
タイトル	十字架のイエスさま
テキスト	ヨハネ 19:23-30
参照箇所	マタイ 27 章,マルコ 15:1-41,ルカ 23:13-49,ヨハネ 15:13
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ローマ 3:23-24
AG 日曜学校教案参照箇所	

□導入

今日から受難週に入ります。難しい言葉ですね。世界中のクリスチャンが、イエスさまの十字架を思い返しながらかこの一週間を過ごします。イエスさまはどうして十字架にかかれたのでしょうか。そして十字架の上でどんなことを思い、何を話されたのか、一緒に聖書を読んでみましょう。

□ポイント1 イエスさまは、十字架にかかられました(23-24)

イエスさまは何も悪いことはしていなかったのに、人々はイエスさまを「十字架につけろ」と激しく叫びました。それで、総督ピラトはイエスさまを十字架につけるために引き渡したのです。ゴルゴタの丘で2人の犯罪人と一緒にイエスさまは両手両足に釘を打たれ、茨の冠をかぶせられ、十字架にかけられました。十字架の下では4人の兵士たちがイエスさまの着物を4つに分けました。しかし、イエスさまの下着(肌着)は縫い目のない高価なものだったので、くじを引いて一人が取りました。それは何百年も前に書かれた詩篇22篇18節に書かれている聖書の言葉が成就するためでした。

問い:死刑(十字架)になる人って、本当はどういう人ですか?…人殺しなど凶悪犯罪者

しかしイエスさまには、総督のピラトが認めるほどに1つの罪もありませんでした。イエスさまの十字架は、旧約聖書に示されていることでした。聖書には、神さまの心が書かれています。イエスさまは、父なる神さまの思いに従われて十字架にかかられました。持ち物も着ているものも、そしていのちさえも、与え尽くす生涯を歩まれました。cf.「まぶねの中に」の歌詞を紹介しても良いでしょう。

問い:十字架の上で、イエスさまはどんなことを思っていたのでしょうか?…ポイント2につなげる

□ポイント2 イエスさまは、マリヤを愛する弟子にお願いしました(25-27)

イエスさまの十字架のそばには、兵士たちだけではなく、お母さんのマリヤやお母さんの姉妹、そしてもう2人のマリヤがいました。イエスさまは十字架の上から、お母さんのマリヤを見ました。イエスさまは、自分が一番苦しい時でしたが、お母さんの悲しみがわかっていました。自分を育ててくれたお母さんを、愛する弟子にお願いしました。このお弟子さんは、その日から、マリヤを自分の家に迎えたのです。

自分がしんどい時、苦しい時、熱が出て病気の時、他の人のことを心配する気持ちになれません。自分のことで精一杯です。でもイエスさまは、神さまを愛することと隣人を愛すること、この2つが一番大切な戒めだと教えられたとおり、神さまを愛して聖書のとおり十字架にかかれ、苦しい十字架の上でもお母さんのマリヤのことを愛して心をくばられました。もちろんイエスさまはマリヤだけではなく、私

たちのことも愛しているからこそ十字架にかかられました。 cf. 「両手いっぱい愛」の歌詞を参照

□ポイント3 イエスさまは、十字架の上で死なれました(28-30)

それから、イエス様は自分のすべき事が全部終わった事がわかりました。イエス様が「わたしは渴く」と言われたので、兵士の一人が酸っぱいぶどう酒を含ませた海綿(スポンジのようなもの)をイエス様に差し出しました。イエス様は、それを少し口に含むと、「完了した」と言われました。そして息を引き取りました。

テレビや映画で「あー無念じゃ」、「死ぬに死ねない・・・」そう言いながら死んでいく人の姿を見る時があります。そこには「もっとこうすれば良かった。こうなれば良かった・・・」という後悔があるのでしょうか。しかしイエスさまは、最期に「完了した」と言われました。これは「終わってしまった」という意味ではなく、「完成した。成し遂げられた」という意味です。滝に打たれて修行をしたら救われるのではなく、もっと良い人になったらイエスさまが愛してくれて救われるのではなく、罪のないイエスさまが私たちの身代わりとなって十字架にかかって下さったからこそ、私たちの罪はゆるされ、救いは完成されます。自分の罪を告白して私たちを命がけで愛している十字架のイエスさまを信じる、このこと以外に救いはありません。救い主イエスさまを信じてイエスさまと一緒に歩む時、私たちもイエスさまのように神さまを愛し、隣人を愛していくことができます。

□結論 罪のないイエスさまが、聖書(神さまの思い)の言葉のとおり、私たちの救いを完成するために十字架にかかって死なれました。 暗唱聖句を読み上げます

イエス様があなたのために、十字架にかかって罪をゆるして下さった事を感謝しましょう。

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

罪のないイエスさまが、私たちの罪のために十字架にかかって下さったこと、イエスさまは私たちの救い主だということをもう一度一緒に信じていきましょう！

1. 近くにいる人を赦せない、愛せない、仲良くできない、そういうことはありませんか？
2. 「どうして、こんな目にあわなければならないのか」という傷や痛み、悲しみを持っていませんか？
3. 「あの時、あんなことをしなければよかった」という後悔はありませんか？
4. 「もっと良い人になったら、イエスさまから愛される」と思っていないですか？

イエスさまは十字架の上で救いを完成して下さったので、どんな後悔も痛みも罪も、全部ゆるして、いやして下さいます。修行をつんで頑張ったから、テストで 100 点をとったから、イエスさまから愛されるわけではありません。聖書の示すとおり、自分の罪を告白し、悔い改めましょう。すべての罪はゆるされます。あなたはイエスさまから愛されているのです。

教師ノート

週課	第三年 第四課 第三週
単元	イースター
テーマ	生きておられる主
タイトル	よみがえり
テキスト	ヨハネ 20:11-18
参照箇所	マタイ 28 章,マルコ 16 章,ルカ 24:1-12
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	I ペテロ 1:3b
AG 日曜学校教案参照箇所	
□導入	<p>先週のイースターは、十字架にかかって死なれたイエスさまが甦ったことを記念する復活祭です。どうして世界中でイースターをお祝いするのでしょうか？世界で最初にイースターの喜びを体験した女性のお話しを読みましょう。</p>
□ポイント1 マリヤは、泣いていました(11-13)	<p>(1-10節を短く要約) イエスさまは十字架にかけられ、新しい墓に葬られました。その日は金曜日で、3日目の日曜日にマグダラのマリヤが朝早くに墓に行ってみると、墓から石が取りのけられ、なんとイエスさまの遺体がそこにありませんでした！！ 急いでペテロともう一人の弟子に伝え、2人もお墓に走って行きました。2人はイエスさまの体がなくなっているのを確認し、自分のところに帰りました。</p> <p>しかしマリヤは、イエスさまの体が盗まれたと思い込み、悲しくなり泣きながらもう一度お墓の中をのぞき込みました。すると2人の白い衣を着た御使いがいて「なぜ泣いているのですか」とマリヤに尋ねました。するとマリヤは「誰かが私の主を取っていき、どこに置いたのかわからないのです」と言いました。</p>
□ポイント2 イエスさまが、マリヤに現れました(14-15)	<p>マリヤが後ろを振り返ってみると、何とそこにイエスさまが立っておられたのです！しかしマリヤは、その方がイエスさまだとは分かりませんでした。イエスさまは「なぜ泣いているのですか？誰を探しているのですか？」とマリヤに尋ねました。でもマリヤは、まだイエスさまだと分からず、園の管理人だと思い、「あなたが、あの方を運んだのでしたら、どこに置いたのですか。私が引き受けます」と言いました。</p> <p>問い:マリヤは、どうして自分の目の前にイエスさまがおられるのに分からなかったのでしょうか？</p> <p>問い: 私たちもイエスさまがよみがえって今も生きていることを信じているのですが、「本当にイエスさまは生きておられるのかなあ？」とイエスさまのことが分からなくなってしまうことはありませんか？どんな時にそう思いますか？</p>

□ポイント3 マリヤは、イエスさまがよみがえったことを知りました(16-18)

イエスさまは、「マリヤ」と声をかけました。その時、マリヤはイエスさまだとわかったのです。そしてヘブル語で「ラボニ・先生」と言って、イエスさまが死からよみがえったことが分かったのです。マリヤはイエスさまに言われた通り、お弟子さんたちにイエスさまがよみがえったこと、イエスさまが話されたことを伝えました。

問い：マリヤは、どうして目の前にいる人がイエスさまだと分かったのでしょうか？また探していたイエスさまがよみがえり、今、目の前にいることを知り、どんな思いだったでしょう？

問い：私たちも「イエスさまは生きておられる！」と喜びながら感謝する時があると思います。それはどんな時に「やっぱりイエスさまは生きておられるんだあ」と実感しますか？（祈りが答えられたり、危険から守られたり・・・）

□結論 イエス様は、今も生きておられます

暗唱聖句を読み上げます

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

ここにイースターエッグがあります。新しいいのちのひな鳥が殻を破り誕生する様子を、大きな石が転がされ、死を打ち破りよみがえられたイエスさまのことを象徴して、イースターにはたまごが飾られるようになりました。どんな悲しみも、つらいことも、しんどいことがあっても、よみがえりのイエスさまを信じていく時、新しいいのちをもって生きる力が与えられていきます。

1. 喜びましょう！

マリヤのように泣きたくなる時、ありませんか？ 悲しみでいっぱいになって、何が何だか分からなくなることも、みんなにもあるよね。イエスさまは一番悲しい死を打ち破られてよみがえられた神さまで。そのイエスさまが、今朝、私たち1人1人の名前を呼んでおられます。今も生きておられるイエスさまは私たちを助け、励まし、共にいてくださいます。

2. みんなでお祝いしましょう！

マリヤは弟子たちにイエスさまのよみがえりを伝えました。私たちも友だちに「イエスさまがいるから大丈夫。イエスさまはよみがえって、信じる私たちと一緒にいるんだよ」と伝えていきましょう。そして、みんなと一緒にイエスさまの復活をお祝いしましょう。

3. 希望があることを喜びましょう！

死んで終わりではありません。死は悲しいものです。しかしイエス様は、死を打ち破られました。だからよみがえりのイエス様を信じる人は、イエス様と同じようによみがえって、天国でもう一度会えるのです。これが私たちの希望です。ハレルヤ！！

教 師 ノ ー ト

週課	第三年 第四課 第四週
単元	イースター
テーマ	信仰
タイトル	復活を信じなかったトマス
テキスト	ヨハネ20:24—29
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) ヨハネ20:29
AG 日曜学校教案参照箇所	小下3-5 小下2-5 幼稚2-3
□導入	<p>メッセージの本題に入る前に、「今、外は雨が降っているよ」と言われたらどうしてそれを信じますか？あなたは、イエスさまが復活して今も生きているということをどうやって信じますか？どうやって証明しますか？など問いかけると、興味を起すことができるでしょう。</p> <p>☞復活の証拠についての例話(小上第3巻p309参照) 2人の学者がイエスさまの復活がウソだということを証明しようとして研究をはじめたところ、2人とも、逆に復活は事実だという結論に導かれたというお話</p> <p>☞「復活」を堂々と語ること(まして聞く人に理解させること)は、どんな熟練したメッセンジャーでも容易なことではありません。聖霊によるチカラと確信をもって語れるように充分お祈りしましょう。</p>
□ポイント1 トマスはイエス様がよみがえったことを信じませんでした	<p>20章19節～23節の経緯を簡潔に説明しましょう。教案幼稚科2巻のp156～157にわかりやすい要約があります、参考にしましょう。</p> <p>☆25節のように言ったトマスはどう思うか、こどもたちに問いかけましょう。疑い深い？素直？不信仰？勇気がある？ガンコ？合理的？ (ヨハネ福音書におけるトマスのキャラクターについては11:16と14:5の言動も参照)</p>
□ポイント2 トマスにイエス様は現われてくださいました	<p>弟子たちは、イエスさまを失って望みを失っていたばかりか、自分たちも逮捕されるかもしれないという恐怖からカギをかけた家の中にもっていました。</p> <p>イエスさまの復活の体は戸を通り抜けることができる霊の体である(1コリント15:35-49)と同時に、地上での肉体と同じように十字架の傷跡がありました。</p> <p>イエスさまはトマスの極めて個人的な要求に、応えるため、トマスのためだけに現れてくださいました。イエスさまは私たちひとりひとりの思いを大切にしてくださるお方であることがわかります。また、「信じる者になりなさい」と言われているように、復活を正真正銘に信じることは、わざわざイエスさまが個人的に現れてくださるほど、非常に重要なことなのです。復活を信じられない人が、信じられるように助けてくださるのは、復活のイエスさまご自身なのです。</p>

□ポイント3 見ないで信じる人が幸せな人です

トマスは触ることを要求していましたが、実際には見ることで信じました。（「私の神、私の主」という明確な告白は新約聖書中でも数少ない重要なものです。）しかしイエスさまは見ないで信じるものは幸いですといわれました。

イエスさまは目に見える証拠や理論的な説明によってではなく、弟子たち（キリストの証人）がイエスさまのことを伝えて、聞いた人がそれを信じるというやり方を、喜ばれます。

イエスさまは目には見えませんが、生きてはたらいしておられます。イエスさまは弟子たちの証しを聞いただけでは信じるができなかったトマスに、「見ないで信じるものは幸いです」と言われました。私たちも、目に見える証拠や理論ではなく、聖書に書いてある証言を信じる時、幸いなのです。

□結論 トマスと同じように、私たちも目に見えないイエスさまを信じていきましょう

□適用

あなたは、「死人が復活するわけがない」とか、「証拠がないのなら復活は信じられない」とか思っていますか？ また、「信じたいのに、どうしても素直に信じられない」とか、「心のどこかで疑ってしまっている」という人はいませんか？

だいじょうぶ、イエスさまは、そんなあなたを助けてくださいます。

イエスさまの復活を信じて生活していれば、イエスさまがあなたのそばにいることに気が付くときがあるはずですよ。

そのために、日ごろ「当たり前」と思っていることに目をとめよう。

遠足や運動会の日にお天気がよかった…ママがお菓子を買ってくれた…カゼが治った…など、これってイエスさまかも…と感謝してみよう。

「見ないで信じる人が幸いです」…って言うのは本当です。でも、だからといって、イエスさまを感じることができないって言うてるんじゃない！ イエスさまは目には見えないけれどいつもあなたと一緒にいてくださいます。トマスのように、イエスさまを体験したいという思いで、信じて生活していれば、きっとあなたにも「イエス様が生きている本当の神様だ！」ということがわかるよ。

そして、体験したことを、おともだちや家族に証ししよう！

教師ノート

週課	第三年 第四課 第五週
単元	イースター
テーマ	愛の回復をして下さる主
タイトル	あなたは、わたしを愛しますか
テキスト	ヨハネ21:15-22
参照箇所	ヨハネ18:15-18、25-27、マタイ26:31-35、マルコ14:66-72、ルカ22:31-34
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	Iヨハネ4:19
AG 日曜学校教案参照箇所	
□導入	<p>イエスさまが十字架にかかれる時、ニワトリが鳴く前にペテロはイエスさまのことを3度知らないと言いました。ペテロにとっては、触れて欲しくない少し前の失敗の出来事でしょう。イエスさまを裏切り、失敗したペテロに、よみがえりのイエスさまは、どのように声をかけられたのでしょうか？</p>
□ポイント1 イエスさまは、ペテロに質問しました(15-17)	<p>イエスさまは、ペテロに「あなたはわたしを愛しますか」と質問しました。ペテロは、「はい。私があなただけを愛することはあなたがご存知です」と言いました。イエスさまはペテロに同じ質問を3度しました。</p> <p>仲良くしている友だちが、別の人に私のことを「あの人のこと知らないよ。友だちじゃないよ」って言っているのを聞いたら、みんなだったらどう思いますか？ペテロがイエスさまのことを3度も知らないと言った時、イエスさまはどう思ったのでしょうか？またペテロはその時のことをどう思っているのでしょうか？</p> <p>普通の人だったら、「どうしてあの時、僕のことを知らないっていったんだい？」と言うかもしれません。でもイエスさまは3度も知らないと言ったペテロに対して、「あなたはわたしを愛しますか」と3度も言われました。イエスさまは、裏切られても赦し、愛し合う関係を大切にしているのですね。</p>
□ポイント2 イエスさまは、「わたしの羊を飼いなさい」と言われました(15-19)	<p>イエスさまは3度、ペテロに「わたしの羊を飼いなさい」と言われました。そして「他の人があなたの行きたくない所に連れて行きます」とも言われました。</p> <p>イエスさまのことを知らないと言ったペテロですが、イエスさまはペテロを信頼してイエスさまの働きを任せているのです。それはペテロが自分のやりたいことをするのではなく、ペテロの行きたくない所に連れていかれるようなことになるとイエスさまは言われました。しかしそのことを通して、神さまの栄光が現れ、神さまって素晴らしいと多くの人々が神さまを賛美するようになるのです。</p> <p>実際、イエスさまの十字架の時には人々の目を恐れてイエスさまのことを知らないと言ったペテロですが、よみがえりのイエスさまの言葉に励まされ、また聖霊の力をいただいて、イエスさまと同じように迫害されても、捕まえられても、それでも人々にイエスさまのことを伝える働きをしました。</p>

□ポイント3 イエスさまは、「わたしに従いなさい」と言われました

イエスさまは、ペテロに「わたしに従いなさい」と言われました。ペテロは近くにいる弟子を見て「この人は、どうですか」とイエスさまにたずねました。イエスさまはペテロに「あなたはわたしに従いなさい」と再び言われました。

「この人はどうですか？あの人はどうですか？」と私たちは周りの人たちを気にしてしまうことがあります。でもイエスさまは「他の人ではなく、あなたはわたしに従いなさい」と言われました。

☞伝承ですが、ペテロの最後は逆さ磔(はりつけ)にされて殉教したとされています。映画「クオ・ヴァディス」(シェンキエヴィチ原作)なども迫害時代を生きたペテロたちの歴史背景を知るのに参考になります。

結論 イエスさまは、失敗した人も受け入れ、用いて下さいます

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1. 「イエスさまを愛します」と告白しましょう

「イエスさまは、僕のことを愛してくれているだろうか？」と不安になる必要は全くありません。イエスさまの愛は永遠の愛なので、増えたり減ったりしません。大切なことは「あなたはイエスさまを愛していますか？」というイエスさまの質問に心から「主よ、愛します」と答えていくことです。私たちが心から「イエスさま、今日もあなたを愛します」と告白していくなら、私たちの毎日は変わってきます！

2. イエスさまのために何ができるでしょうか？

イエスさまを愛する人は、イエスさまに従い、イエスさまのために何かをすることができます。それは他の誰かと同じでなくても良いのです。愛するイエスさまのために今の私に何が出来るか、この1週間、イエスさまに聞きながら祈りましょう。そして来週、みんながどんなことを決心したか、聞き合いましょう。(先生は、小学生の時に、教会の犬を散歩に連れて行ったり、分級の準備や片付けを手伝ったりしたよ！)

3. ペテロのように失敗して、心を暗くしている友だちはいませんか？

自信を失っている友だちはいませんか？そういう友だちがいたら、「イエスさまがいるよ。裏切り失敗したペテロを励ましたイエスさまがいるよ。イエスさまは、立ちあがる力を与えてくれるよ」と励まし、祈り、教会に誘いましょう。

4. 仲が悪くなっている友だちはいませんか？

以前は仲良かったけれど、誤解や意地悪や失敗、裏切り、悪口、ケンカ・・・、そういうことで仲が悪くなっている友だちはいませんか？本当は仲良くしたいんだけど、そう出来なくなっている友だちはいませんか？私たちがあきらめないで愛してくれるイエスさまから、私たちも本当の愛をもらって、仲直りをする力をもらいませんか？

教師ノート

週課	第三年 第四課 第六週
単元	イースター
テーマ	天に上られた主
タイトル	再臨の約束
テキスト	使徒 1:3-11
参照箇所	ルカ 24:13-26, ヨハネ 14:2-3,16-17,26,15:26,16:7-16
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	使徒 1:8
AG 日曜学校教案参照箇所	

□導入

みなさんは、「約束」をしたことがありますか? 「約束」は必ず守ることがとても大切なことです。最初から、守らない約束なんて、意味がないですよ。時々、みなさんのお父さんやお母さんは、約束を守らないと怒るでしょう? 反対にお父さんやお母さんが約束を守らないときも、みなさんは怒るんじゃないですか?

イエス様も最後の時に、お弟子さんたちと約束をしたのです。さて、どんな約束だったのでしょうか。

例話)三浦綾子『塩狩峠』(新潮文庫)の中で、主人公の信夫が小学生の時の話が出てきます。学校のトイレにお化けが出るかどうかを確かめるために夜の8時に桜の木の下に集まるという約束をしました。しかし雨が降って来たので信夫は「行かない。誰も来てないから」と両親に言うと、「約束を破るのは、犬猫にも劣るものだよ。守らなくてもいい約束なら、はじめからしないことだな」と父親が言いました。しゅしゅ信夫が雨の中を桜の木の下まで出かけてみると、何と永野君がいたのです。信夫が「ひどい雨なのによく来たな」と言うと、永野君は「約束だからな」と言いました。信夫は、お父さんに行けと言われたから仕方なく来たことを恥ずかしく思いました。この後、信夫と永野君は、生涯の親友になっていくことになりました。(45-60頁)

□ポイント1 イエスさまは弟子たちに約束をしました(4-5)

よみがえったイエスさまは、弟子たちと一緒にいる時に、「エルサレムから離れないで、父なる神さまの約束を待ちなさい」と命じられました。父なる神さまの約束は、聖霊のバプテスマを受けるという約束でした。

⇒ポイント1か2で、聖霊のバプテスマについて、期待を持たせるように説明をしましょう。

今日の内容では、来週からの単元にならないと、子どもたちには聖霊のバプテスマのことが良く分からないかもしれません。それは弟子たちがペンテコステの日まで、聖霊のバプテスマのことが良く分からなかったことと似ているでしょう。ここでは、聖霊については期待感を持たせるように語り(次の単元を読んで子どもたちに適応させながら)、イエスさまは約束を守って下さるお方だという信仰(信頼)が引き出されるように語りましょう。

□ポイント2 イエスさまは、再び約束されて天に帰られました(6-9)

弟子たちは、父なる神さまの約束の本当に意味を分かかっていませんでした。そこでイエスさまは、聖霊の力が与えられる時、よみがえったイエスさまの証人になるという約束をされました。そしてイエスさまは、みんなの目の前で雲に包まれて天に帰られました。

聖霊の力は、私たちの想像を超える素晴らしい力です！力を「デュナミス」というギリシア語が遣われています。これは「デュナミス⇒ダイナミス⇒ダイナマイト！」というように(笑)、ダイナマイトの語源となるぐらい大きな大きな力です！恐がっていた弟子たちが、エルサレム、ユダヤ、サマリヤの全土、地の果てまでも、困難や迫害を乗り越えてよみがえりのイエスさまを伝えていく大きな力です。決して破壊的な力ではなく、イエスさまの衣のすそを触った時にイエスさまから流れた力も「デュナミス」です(ルカ 8:46)。つまり人を癒し、強め、生かす、そういう力を聖霊が与えてくれるという素晴らしい約束なのです。

□ポイント3 御使いたちが、イエスさまが再び来られると告げました(10-11)

弟子たちは、イエスさまが上って行かれた天を見つめていました。どんな気持ちで天を見つめていたのでしょうか？「せつかくよみがえったのに、天に帰って行かれるなんて・・・」、そんな気持ちかもしれません。すると白い衣を着た2人の御使いが弟子たちのそばに立っていたのです。そして2人の御使いは、イエスさまが再び来られると告げました。

*低学年の子ども達に話す場合は、イエス様が天に上げられる様子を言葉だけでなく、その場に自分があるような気持ちで演技してみてください。子ども達が、この情景を描けるように話しましょう。

⇒「世の終わりまで共にいる」と言われたインマヌエルなるイエスさまが天に帰られたということ、またイエスさまがやがて来られるということは、今はイエスさまが私たちと共におられないように思うかもしれませんが。確かにイエスさまは昇天され、今は父なる神の右に座して私たちのためにとりなしておられます(ヘブル7:25、ロマ8:34)。そして同時に、聖霊によって私たちと共にいて下さるのです。

□結論 イエスさまは、約束通りに聖霊を与えて下さり、やがて再び来られます

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1. イエスさまの約束の言葉は、必ず実現します。みんなが信じているイエス様の言葉(聖書の言葉)は、どんな言葉ですか？(先生は恐がりだったので、「雄々しくあれ、強くあれ」という聖書の言葉を信じていました。するとその通り、恐い時も力がわいてきました。また経済的にピンチの時もありましたが、「主は私の羊飼、私には乏しいことはありません」という言葉を信じて祈り、神様は必要の全てを満たしてくれましたよ)
2. イエス様は、私たちへの約束を守ってくれますが、みんなはイエス様との約束を守っていますか？今までイエス様に「聖書を読みます」「お祈りします」「弟に優しくします」などなどいろいろ約束して祈ってきたことを思い出して下さい。そして私たちもイエス様との約束を守る人となりましょう。
3. 家族や友だちと約束したことを守っていますか？
4. 聖霊のバプテスマは必ず与えられます。来週から聖霊について一緒に学びます。「私を聖霊に満たして下さい」って一緒に祈り求めましょう！イエスさまは約束を破られるお方ではありません。またやがてイエスさまは再び来られます。私たちはイエスさまに出会う日があります。その日まで、聖霊の力に満たされていきましょう。